

津幡町河合谷地域活性化プロジェクト

団体名●石川ゼミナール／代表者名●石川美澄（経済学部地域システム学科・教授）

はじめに(背景・目的・目標)

石川県津幡町河合谷地区には、木窪大滝や「牛舞坊」等の豊かな自然・文化資源と、小学校改築のために村(旧河合谷村)をあげて禁酒に取り組んだという全国的に見てもユニークな歴史がある。しかしながら、地区人口は1990年に比べて約60%減少するなど高齢化が進んでいる。

以前から、本学の地域スポーツマネジメントゼミナールは同地区で地域貢献活動を継続してきた。今年度は、それらの活動を経済学部石川ゼミナールが中心となって担うこととなった。また、新たに石川県立大学瀧本研究室と河合谷公民館とも協働しながら地区内の交流や賑わいづくりを目標に、秋のオータムフェスティバル(以下、秋イベント)開催を実施した。なお、イベント当日には本学の学生団体 Future Makers の学生も運営に携わった。

活動内容

今年度の主な活動内容を表1にまとめた。これらの活動は石川ゼミナールの3年生(9人)が中心となり、河合谷公民館や町内の事業者の方々との意見交換や各種調整を行いながら進めた。秋イベントの開催以外にも、祭りや歴史に関するフィールドワークや地元のひょうたんを使ったワークショップへの参加等を通じて、地区内の住民や事業者の方々との交流を図ったり、地域の歴史や魅力について理解を深めたりした。

10月12日の秋イベントは、昨年度以上に地区内外の事業者や住民(関係人口含む)の皆様のご支援とご協力をいただきながら開催することができた。

成果、結果の考察

昨年度に引き続き、第2回目の開催となった秋イベントには、県内はもちろん県外からも想定以上の人々に参加していただくことができた。参加者からは、「河合谷に、こんな素晴らしい施設(河愛の里キンシュレ)があったことに気づいた」、「昨年も来たけど、また来たよ」、「素晴らしいイベントだから、もっと

告知に力を入れたほうがよい」、「来年の開催も楽しみにしている」等の激励と感想をいただくことができた。正確な来場者数を計測することはできていないが、昨年度以上の参加者数だったと思われる。

今後の課題、展望

来年度も、秋イベントの企画運営だけでなく河合谷地区との継続的・多面的な連携を行っていきたい。

表1：2024年度の主な活動内容等

時期	主な活動内容・学生の参加人数等
6月	河合谷公民館ならびに地域内事業者との打ち合わせ(石川ゼミ5名)
7月	「夏のぶなっこ交流会」のサポート(石川ゼミ5名、Future Makers 5名)
8月	「ひょうたんワークショップ」参加(石川ゼミ2名／秋イベントに向けて準備等(石川ゼミ7名)
9月	キンシュレにて試作・試験実施(石川ゼミ12名)
10月	秋イベントに向けて準備等(石川ゼミ9名)／オータムフェスティバル(10月12日開催、石川ゼミ14名、瀧本研究室5名、Future Makers 8名、イベント参加者延べおおそ140名前後)



写真1：イベントの受付の様子（一部加工あり）



写真2：秋イベント終了後の集合写真